

11月定例会の常任委員会における審査の主な内容

総務委員会

GO T O自治会応援事業費など、令和2年度一般会計補正予算(第13号)
(総務委員会付託分)を可決

総務費において、自治会活動に係るマスクや消毒液等の感染症対策経費を補助するためのGO T O自治会応援事業費が計上されました。

委員会では、補助金交付決定前に購入した備品等を特例として補助対象にする考えや、補助対象を市内店舗での購入分に限定している点について、既に購入した分は市外店舗での購入分も対象とする考えについて質しました。理事者からは、委員会からの指摘を受け、本事業が新型コロナウイルスという異例の事態に対応するものであるため、交付決定前に購入した経費は令和2年4月1日まで遡って補助対象としたい、また、交付決定前の購入分は、領収証等がある場合、市外店舗での購入分も補助対象にしたいとの答弁がなされました。

そのほか、補助金の交付決定前と後で補助対象が異なることから、混乱を生じさせないための周知方法について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、マイナン

バー制度に係る費用については認められないなどの反対意見が出された一方、GO T O自治会応援事業費については、補助金の交付申請について手続の簡素化を図ってほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

教育厚生委員会

長崎市民会館の指定管理者を決定

第186号議案「公の施設の指定管理者の指定について」は、長崎市民会館の管理を行わせるため、令和3年度から令和7年度までの指定管理者を指定しようとするものです。

委員会では、応募団体が1者しかいなかったことについて、多くの団体が応募しやすくするための市の取組状況、管理体制における正規職員との配置予定数と非正規職員の待遇、社会教育に関する市の方針と指定管理者が実施する事業との整合を図るための方策、指定管理者制度を導入したことによる経費削減効果について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、市民会館については、社会教育施設として

公的な責任を果たすべきであることから認められないなどの反対意見が出されましたが、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

環境経済委員会

経済成長戦略策定費など、令和2年度一般会計補正予算(第13号)(環境経済委員会付託分)を可決

商工費において、長崎地域の社会経済の現状を把握した上で将来予測等の基礎調査を行い、基礎調査をもとに経済成長戦略を策定するための経済成長戦略策定費が計上されました。

委員会では、策定に当たって、様々な関係団体の声を聞きながら内容の充実を図っていく考えの有無について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、新型コロナウイルス感染症が拡大してから初めて迎える冬場であり、今後、自粛や休業も考えられることから、長崎市の経済が少しでも落ち込まないよう、臨機応変に即効性のある予算執行を常に考え、市民が今の苦しい時を乗り切っていこうという意欲が出るように努めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

建設水道委員会

長崎市茂里町駐車場の指定管理者を決定

第178号議案「公の施設の指定管理者の指定について」は、長崎市茂里町駐車場の管理を行わせるため、令和3年度から令和6年度までの指定管理者を指定しようとするものです。

委員会では、長崎市障害福祉センターが隣接していることから、障害者用駐車場の台数を柔軟に確保する考えの有無、申請があった2者のうち市営駐車場の指定管理者の実績がない1者が失格基準に該当したこと

から、失格した事業者への事前説明の状況について質すなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。



▲茂里町駐車場の整備イメージ図